

令和8年6月26日開催 定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和8年6月26日（金）午後1時30分から午後2時55分

開催会場 美祢市役所3階「301会議室」

出席者 南 順子 教育長

出席委員 金子 明美 教育長職務代理者

松本 孝志 委員

井上 敏雄 委員

谷岡奈美子 委員

4人

欠席委員 なし

出席教育委員会事務局職員 千々松雅幸 事務局長

田中 美香 " 教育総務課長

中島 幹晃 " 学校教育課長

神田 高宏 " 生涯学習スポーツ推進課長

中村 義輝 " 文化財保護課長及び世界ジオパーク推進課長

倉増 裕 " 教育総務課主幹 6人

（午後1時30分）

1 開会

事務局長 千々松 雅幸

それでは皆さん、こんにちは。

只今から令和8年6月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これよりの進行は教育長よりお願いいたします。

教育長挨拶

教育長 南 順子

失礼いたします。

改めまして、皆様こんにちは。

本日は、お足元の悪い中、令和8年6月定例教育委員会会議にお集まりをいただき、ありがとうございます。

さて、青森県では、25 日早朝震度 6 強の地震が起き、けが人も発生しました。小学校 1 年生の児童が駅のエレベーターに閉じ込められるという事案がありました。無事救出されて、ほっとしているところです。

美祢市においても、24 日水曜日の 18 時 30 分に、翌 25 日未明から大雨による土砂災害発生危険性が高まることから、東厚保町、西厚保町に警戒レベル 3 の高齢者等避難を発令し、厚保公民館、川東コミュニティセンターに避難所を開設しました。

厚保小学校と厚保中学校は、学校判断で、昨日 25 日を休校にしました。市内で休校の措置をとったのは、この 2 校だけです。

幸い 25 日は、心配された大雨による土砂災害等も発生しませんでしたので、避難所も正午には閉鎖されました。

児童生徒の登下校につきましては、現在のところ、スクールバスも平常通り運行しておりますが、まだ、梅雨前線の影響や強い台風等の接近が予想されるため、予断を許さない状況です。最新の気象情報に注意し、人命尊重第一に、とにかく安全最優先で行動、状況によっては、早目の避難行動を心がけるよう周知徹底を図るつもりです。

ところで、昨日、学校保健委員会が開催されましたが、会長の医師である中元先生が冒頭の挨拶で「今、手足口病や一般的に「はしか」とも呼ばれています麻疹、それに、九州地方を中心に謎の風邪が流行しています。様々な地域の人々との交流が進む中で、いろいろな病原体が入りこんでいるのが現状です。今後一層、医師会と学校との連携が必要となってくると思われます。」というお話をされました。

手足口病は、県全域に流行警報が出されましたが、咳やくしゃみなどに含まれるウイルスによって感染、麻疹も麻疹ウイルスによって引き起こされる非常に感染力の強い全身感染症で、空気感染・飛沫感染・接触感染により広がります。

麻疹は、ワクチン接種による予防がありますが、手足口病については、ワクチンはなく、また、二つの感染症ともに特効薬がないため、予防をしっかりとすることが重要だそうです。入念な手洗い、タオルの共有をしないこと、そして、何よりも免疫力を高めるために、十分な睡眠とバランスの取れた食事、規則正しい生活を心がけることが予防につながるとおっしゃっていました。

梅雨時期は、低気圧や高い湿度が自律神経の乱れを引き起こし、体調不良に陥りやすいので、これから迎える猛暑に向けても、体調管理にはしっかり配慮したいものです。

お互い健康第一に、無理をせず、自分を労りながら、職務にあたりたいと思います。

それでは、以後、着座にて進めさせていただきます。

2 署名委員

教育長 南 順子

はじめに署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては谷岡委員と井上委員にお願いします。

<両名了承>

3 前回会議録の承認

教育長 南 順子

前回会議録の承認につきましては、金子委員と谷岡委員にお願いします。

よろしいでしょうか。

<両名了承>

4 教育長報告

(1) 行事関係

教育長 南 順子

次に、行事関係についての報告をいたします。

お手元の資料を御覧くださいませ。

その前に、令和8年度の教育要覧が出来上がりました。表紙と裏表紙の写真は、昨年度、美祢市の生徒が台湾水里中学校を訪問した時に撮ったものです。特に、裏表紙の別れる際の表情から、この交流事業が双方の生徒にとって充実したものであったことが伺えます。

6月8日から、第2回美祢市議会定例会が始まりました。後程、教育総務課から報告がございますが、16日と17日の一般質問では、公設塾・ラーニングスペースや小・中学校の統廃合、部活動の地域展開や今後のスポーツ振興の方針、Mine秋吉台ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定後の教育的見地からの活用、学びの多様化学校の設置等、教育委員会に関わる質問が大変多くあり、局長がしっかり答弁をしてくれました。

6月9日に、2年後の令和10年7月下旬から8月上旬までの7日間、山口県で開催予定の第52回全国高等学校総合文化祭「やまぐち総文2028」の山口県実行委員会設立会及び第1回山口県実行委員会に出席しました。

この実行委員会の名誉会長は、山口県知事。名誉副会長は、文化庁次長、全国高等学校文化連盟会長、山口県内の各市長・各町長。そして、会長が山口県教育委員会教育長、副会長は大変多いのですが、その中に、県内各市町教育委員会の教育長も充てられています。

既に、令和6年から準備委員会を設置し、着々と準備が進められており、山口県の総力を挙げて取り組む意気込みを感じました。

9日当日は、第1回目ということで、大会基本方針や大会テーマ「文化維新 山口から響け 未来の創造」の紹介。それに、大会ポスター、シンボルマーク、イメージソングの歌詞等の最優秀賞、優秀賞の表彰がありました。

また、全国大会出場や山口県知事賞の受賞歴を誇る県内屈指の実力を持つ防府高等学校、書道部による見事なパフォーマンスの披露が会場であり、目の前で、部員が心を一つに作品を作り上げていく様子をつぶさに見ることができ、感動しました。

2年後の令和10年、山口県に全国から若人が集い、幕末維新発祥のこの地で、新しい文化の風を吹かせ、未来に向かって、文化維新が起こることを期待したいと思います。

6月15日、県地域人事班の訪問がありました。令和8年度4月に実施された全国学力学習状況調査の県内全ての自校採点の結果が出ましたので、その報告と指導にこられました。まだ、正式な結果ではありませんので、現時点では^⑩の情報として受け止めてください。

後程、学校教育課から詳しい説明がありますが、結論から申しますと美祢市は、中学校3年生以外は、大変悪い、非常によくない成績でした。

県もこの現状に危機感をもち、ぜひ、市内全ての学校がこの実態をしっかりと共有し、教育委員会と一体となって対策を講じるよう指導がありました。

教育長として、大変責任を感じておりますし、何よりも子ども達に対して申し訳ないと思っております。以前から、学校訪問や突撃訪問で、先生方の日々の授業が学力の定着に結びついているのか、大変気になっておりました。

23日の校長会で、市内全ての小・中学校の校長にも話しましたが、ぜひ、この結果を最大の危機感をもって各学校が受け止め、具体的な対策を講じて欲しいことを話しました。

その一部を紹介します。

「いつの時代においても、また、主体的に子ども達が将来にわたって、社会生活を営むために、『読み・書き・計算』のような知識・技能を一人一人の児童生徒の実態に応じて、しっかりと身に付けられるよう、指導・支援をすることは、教師として当然の果たすべき使命ではないでしょうか。

このことを、まずは一人一人の先生方にしっかりと自覚をしていただきたい。子どもが出来ないのでなく、一人一人の個に応じた様々な工夫や支援をすることで、子どもができるようにすることが、魅力ある教師の務めであり、できるようになった喜びを共に分かち合い、次の成長へとつなげていくことが、人を育てる教育ではないでしょうか。

まずは、クラス全員の児童生徒が、内容を理解しながら、教科書を正しく、すらすら読めているでしょうか。

いえ、子ども達が意欲をもってすらすら読めるように、授業等を通じて、実

践をされているのでしょうか。

ノートの取り方が教科書には、きちんと掲載されていますが、発達段階に応じて、自分の考えをノートに正しく書く習慣が身についているのでしょうか。

掲示物やノート、プリント等で、子ども達の間違い、誤字脱字等がそのままにされていないのでしょうか。子ども達が、間違っていたら、進んで正しくやり直す習慣が身についているのでしょうか。そのための看取りや励まし、賞賛を先生方は、されているのでしょうか。

知識・技能の習得は、子ども達自身が自分らしく生きる意味を肯定することができる自己肯定感を支え、予測不可能な厳しい社会の中でも他者と協働して様々な困難を乗り越えていく力の土台になります。

決して、全学調の点数の結果が良いことが、イコール学力が身につけているとは思いませんが、毎時間の授業の中で、教師が各学年で身につける基礎的・基本的な事項をしっかりと理解して授業を仕組み、全校体制で6年間、いえ小中一貫教育で9年間を通して、子ども達に着実に身につくよう工夫・改善に努めていただきたいと思います。

そして、15の春には、子ども達が、自分の夢や目標に向かって、希望する進路を自信をもって選択できるよう、力をつけてくださるようお願いいたします。」

今後も、教育委員会として、まずは、子ども達一人一人の実態把握、特に、どこでつまづいているのか、何が理解できていないのか等を、全教職員が当事者意識をもって把握することに努めます。そして、どうすれば学力定着につながるのか。そのために、何をすべきなのかを全教職員が理解をしたら、心と力を合わせて協働実践をし、PDCAサイクルで、着実にその取り組みが子ども達の学力の定着につながっているのか、共に検証しながら、一人でも多くの子供達に、ゆるぎない学力が定着するよう伴走支援に努めるつもりです。

ぜひ、教育委員の皆様方からも、もっとこうすべきでは等、御指導・御助言をお願いできたらと思います。

ただ、特筆すべきこととして、於福小学校は、国語・算数共、県の平均よりかなり高く、子ども達が大変良くがんばったことがわかります。

この於福小は、昨年10月に実施された県の確認問題では、国語は市内で一番低かったのですが、今年の4月の全学調では県内の平均よりもかなり高く、算数も、昨年10月の得点は低かったのですが、今年の4月には驚異的な伸びをみせてくれました。

後で、中島課長からも報告があると思いますが、杉山校長のリーダーシップのもと、学校・家庭・地域が一丸となって、子ども達の実態に沿って、徹底的につまづきを克服し、子ども達ができるようになるまで、粘り強く頑張られた成果だと思います。

校長会の日、杉山校長先生に立ち話でしたが、「子ども達のために頑張ってくださいって、そして、結果を出していただきありがとうございました。子ども達にとっても大きな自信になったことでしょう。」と話したら、「いえ、

子ども達はもともと力をもっていたのですよ。今までが悪すぎました。」と、言われました。

学力の面からではありますが、このように、徹底的に子ども達に寄り添い、一人一人の子ども達の可能性や良さを引き出して、「やればできる」という自信や自己肯定感を高めていただいた於福小学校の学校・家庭・地域を挙げての取組が、良い事例の一つとして、市内で横展開になるよう努めていきたいと考えています。

続きまして、お手元に分厚い資料「第76回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会高知大会の報告」を配付しております。

本来なら、先月報告をするはずでしたが、印刷が悪く差し替えをしましたので、改めて報告させていただきます。

資料の「行政説明資料目次」をご覧ください。全てが大切なのですが、時間の関係で、本日は、「4 児童生徒性暴力等対策について」のみ、報告をしたいと思います。

下に小さくページ数が書かれていますが、53ページをお開きください。

上に「児童生徒性暴力等の防止について」とありますが、まずは、絶対に許されない行為であることをぜひ共有すること。小さい字で、見えにくくて申し訳ありませんが、「児童生徒性暴力とは」どんなことを指すのか具体的に書かれています。その下の必要な取組みについては、全て一つ一つが大切な取組みななので、しっかりと共通理解をしてほしいと指導がありました。

特に、児童生徒性暴力を行った教員へは「懲戒免職」という厳罰な懲戒処分が徹底されるということで、そのような事態を招かないためにもまずは、未然防止・早期対応への取組の徹底に努めること。

56ページをお開きください。令和7年度、教職員性暴力防止法に基づくデータベースの活用徹底ということで、右端に書いてありますように、「法律で義務づけた手続きであるにも関わらず、約7割の任命権者等が適切に実行できていなかったという事実は極めて遺憾である。」

57と58ページに各教育委員会で取り組むことが示されています。

教職員への取組については、日常的に進めること、定期的な点検をすること。58ページの研修動画は、判断に悩む事例の解説があるので、自分事として認識できるので、ぜひ活用してほしいとのことでした。

60ページには、警察との連携ということで、警察としての観点から作成された資料が紹介されていますので、ぜひ、活用していきたいと考えています。64ページには、指針の改訂内容等がまとめてありますので、様々な機会をとらえて周知徹底を図るつもりです。

また、児童生徒の性暴力を防ぐためには、子ども達自身が性犯罪や性暴力の加害者・被害者、傍観者にならないための知識を伝える教育が必要です。現在、文部科学省と内閣府が進めている学校現場で使う教材・指導の手引書を改訂しているということで、「内外教育」という雑誌に掲載されていた記事をコピー

したA4の紙を配付していますので御覧ください。

次回には、「8 GIGAスクール構想の推進について(デジタルな形態を含む新たな教科書を含む)」御報告いたしますので、大変重くて申し訳ありませんが、この資料を御持参いただけるとありがたいです。

すみません。もう教育長の行事関係とその他を一緒にしてしまいましたけれども、何かご質問等ありましたら、お願いできたらと思います。

本当に独断と偏見で私の方でこの前も申しましたように冊子から抜き出したので、ここはもうちょっと詳しく見たいというご要望がありましたら、おっしゃっていただけたらと思います。

以上よろしゅうございますでしょうか。大変一方的に申しましたが、どうぞよろしく願いいたします。

5 報告・議案

教育長 南 順子

それでは、議案の方に移りたいと思います。

報告第9号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱について学校教育課お願いします。

中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

議案の1ページから3ページ、資料は1ページになります。

現在、実施中の健康診断のうち、6月4日と9日に実施いたしました耳鼻科健康診断に際し、美祢市学校医（耳鼻科医）への派遣を依頼している山口大学大学院医学系研究科、耳鼻咽喉科学講座から、6月1日に医師変更の連絡があったことに伴い、同日付で委嘱及び解嘱することについて、美祢市教育長に対する事務委任規則の規定により臨時に代理しましたので、教育委員会に報告するものです。

任用期間は、残任期間の令和9年3月31日までとするものです。

以上です。

教育長 南 順子

それでは、報告第9号について質疑等があれば承りたいと思います。

ないようですので、報告第10号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱について学校教育課お願いします。

中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

報告第10号ですが、先ほどと同じく今度は6月16日に同じく実施いたしまし

た耳鼻科健康診断に際し、医師変更の連絡があったことに伴い、臨時代理いたしましたので、教育委員会に報告するものでございます。

以上です。

教育長 南 順子

報告第10号について質疑があれば承りたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、議案第49号、令和8年度、美祢市教育委員会事務事業の点検及び評価の実施に関する方針について、教育委員会事務局千々松局長お願いします。

事務局長 千々松 雅幸

地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第26条の規定に基づき、美祢市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うに当たり、令和8年度の実施方針を定めたいので、教育委員会の承認を求めるものです。

なお点検評価の実施にあたっては地教行法の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとし、10月に最終評価を取りまとめ、報告書を作成のうえ教育委員会会議に議案として提出する予定としており、その後市議会への提出及びホームページで公表することとしております。

対象の評価事項については教育委員会会議の開催状況を含めた教育委員会の活動状況や、教育振興基本実施計画に掲げる主な事業の実施状況及び成果などとなります。

議案書の方針の方を少し見ていただければと思います。

基本的には令和7年度と大筋は変わらないのですが、3番目の事務事業評価の基準についてというところを見ていただければというふうに思います。

この点検評価の客観性をより高めるために、少し定量的な評価基準を設けたというふうに考えました。

ですので、第二次美祢市総合計画後期基本計画、それから第三次美祢市教育振興基本計画における目標指標等を評価基準として、令和8年度は加えるようにいたしております。

次ページになるのですが、有効性に関する評価点といったところがあると思います。

施策の目標を達成できたかというようなところで、評価点が54321とあるのですが、そこに目標指標に係る達成度合い、目標値指標があるものについては100%以上であれば、5点とか、そのようなことに見直しをいたしております。

説明は以上になります。

教育長 南 順子

では、議案第49号について質疑等があれば承りたいと思います。

資料に真剣に目を通していただいております。

よろしいでしょうか。

特にないようですので、議案第49号の質疑は終了させていただきたいと思います。

お諮りします。

議案第49号、令和8年度美祢市教育委員会事務事業の点検及び評価の実施に関する方針について、説明のとおりご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

<全員挙手>

教育長 南 順子

全員賛成ということで承認されました。

議案第50号、令和8年度美祢市教育委員会表彰候補者について、教育総務課お願いします。

田中課長。

教育総務課長 田中 美香

美祢市教育委員会表彰につきましては、表彰既定の規定に基づき、毎年度教育及び学術並びに文化スポーツの振興発展に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰しております。

今年度は麦川小学校と厚保中学校及び、生涯学習スポーツ推進課から推薦のありました個人3名を表彰候補者として教育委員会の承認を求めるものです。

功績欄の最後に適用となる規定の号番をお示ししておりますけれども、今回につきましては3名とも、第2条第4号ということで、学校教育または、社会教育の振興について顕著な功績のあった個人ということで表彰をさせていただきたいと考えております。

候補者の功績の概要をご説明いたします。

まずお一人目、高橋宏典氏は、平成2年度、平成3年度と厚保小学校PTA会長を務められ、平成26年からは厚保中学校の学校運営協議会委員となられ、その後、平成28年から令和7年度までの10年間の永きにわたり会長を務められました。同時期に平成26年度から平成28年度の間、厚保地域協育ネット会長を務められ、その後、平成28年度から令和6年度の9年間にわたりあつまろんネット会長も務められました。多岐にわたる役職を務められ、厚保小学校や厚保中学校の地域連携教育活動に貢献され、尽力されておられました。

続きまして、宮崎義敬氏は令和4年から3年間、美祢図書館主催の「美祢市ふるさと歴史講座」において講師を務められ、市民に対し、地域の歴史や文化を

理解し、地域への愛着を感じることができるよう分かりやすい講演を続けられました。

また、平成25年に開所した「厚保地域交流ステーション」では、当ステーション事業として平成28年2月から令和7年1月までの約9年間、「あつ駅交流談話会」の講師として民俗や歴史、伝承を題材として話題を提供してこられました。事業終了後も当ステーションを使用し、同様の活動を現在に至るまで続けられています。

さらには、令和5年に供用を開始した美祢市役所本庁舎3階の議場において、令和6年と令和7年にコンサートを開催され、広く市民に芸術・文化に触れる機会を提供されました。

このような活動を通じ、本市の文化振興及び生涯学習の推進、更には郷土愛の醸成に尽力されました。

最後に、沢見義人氏は平成17年度以来、27年間にわたり週2回「詩吟教室」を開き、麦川小学校の希望児童に詩吟指導を通して助け合いの精神や、人格尊重・公平さの大切さなども指導されました。

美祢市や健友学風会の吟朗大会や麦川小学校のフェスティバルへの参加、市内の老人施設や社会復帰センターへの慰問で学びの成果を披露し、社会貢献の重要性を体験させる等、社会教育の振興にも尽力されました。

以上3名になります。

以上です。

教育長 南 順子

では、議案第50号について質疑等があれば承りたいと思います。

特にないようですので、議案第50号の質疑は終了させていただきます。

お諮りします。

議案第50号令和8年度美祢市教育委員会表彰候補者について、説明のとおりご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

教育長 南 順子

ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

議案第51号、美祢市史跡長登銅山跡調査及び整備委員会委員の委嘱について文化財保護課をお願いします。

中村課長。

文化財保護課長 中村 義輝

議案10ページ、資料6ページになります。

美祢市史跡長登銅山跡調査及び整備委員会は長登銅山跡の調査整備及び活用方法を協議するため設置している組織でございます。

この度、全員の任期満了に伴い、委員7名を委嘱したいので教育委員会の承認を求めるものです。

なお、委員の任期は令和8年7月1日から令和10年6月30日までとするものです。以上です。

教育長 南 順子

では、議案第51号について質疑等があれば承りたいと思います。

特にないようですので、議案第51号の質疑は終了させていただきます。

お諮りします。

議案第51号、美祢市史跡長登銅山跡調査及び整備委員会委員の委嘱について、説明のとおりご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

6 協議報告等

教育長 南 順子

ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

それでは次に協議報告の方に移らせていただきます。

各課からの報告をお願いします。

初めに教育総務課、よろしくお願いします。

教育総務課長 田中 美香

教育総務課からは、令和8年6月8日に開会いたしました、6月議会へ提出された一般質問について簡単にご説明をいたします。

資料は先にお送りいたしました、表紙が一般質問順序表と記載しております少し厚めのホッチキス留めの資料になります。

6月の美祢市議会定例会では、先ほど教育長のごあいさつでもありましたが、全部で8人の議員から一般質問が提出をされ、教育委員会に関連した質問は6名の議員からございました。

まず末永議員は公設塾ラーニングスペースについてのご質問で、次のページになりますが、戎屋議員からは小中学校の統廃合についてと部活動の地域展開の現状と課題についてのご質問でございます。

次のページの藤井議員と三善庸平議員からは、御二人ともMine秋吉台ジオパークが、ユネスコ世界ジオパークに認定されたことに関連した質問をされておられます。

次のページには、三好睦子議員の多様化学校の設置についてと、Mine秋吉台ジオパークの事業展開についてのご質問があり、最後、山下議員は地域クラブ活動の方針についてご質問をされました。

次のページから、それぞれの議員ごとに作成した答弁を載せております。

MYT等でご覧になられた委員さんもおられるかもしれませんが、実際のやりとりの中で、多少この答弁どおりにならないところもありますのでご了承くださいと思います。

一つずつの答弁についてご説明をすればいいのですが、時間の都合もありますので、省略をさせていただきたいと思います。

またですね。今回、麦川小学校の廃止に伴う市立小学校設置条例の一部改正の議案と関連する補正予算につきましては、30日の最終日で議決を残すのみとなっております。

その後は速やかに麦川小学校の統合に向けて進めて参りたいと思っております。

以上です。

教育長 南 順子

只今の教育総務課からの報告等につきまして、何かご質問やご意見等があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

今の田中課長の方からもございましたけれど、麦川小学校の統廃合につきましては、30日の議会の最終日で議決されることになっていますが、すでに水面下で準備をしております。また、教育委員さんの方にもいろいろご報告をさせていただけたらと思います。

では、次に学校教育課お願いいたします。

学校教育課長 中島 幹晃

学校の様子について、事前にお配りしている資料の中で、パワーポイントのスライドで、5月28日、「Mine秋吉台ジオパークを題材とした地域調査の手法の学習について」という資料がございますのでご覧ください。

先月、伊佐小中学校の地域をウォークラリーで小学生と中学生が一緒に回ったという、地域の資源を教育に生かしていくという取組をご紹介しましたが、この度は中学校の事例で、総合的な学習の時間や特別活動の時間ではなくて、教科の時間に地域資源を活用して、実施したという授業でございます。

ユネスコ世界ジオパークの認定を受けて、これを授業に落とし込めないかと

ということで、大嶺中学校の2年生の社会、地理の授業で美祢を語ることをのける生徒の育成という授業が行われました。

下の写真が、実施してくれた社会の先生、2名ほど若い30代の社会科の先生がおられます。

これが提案型の授業をしてくれました。

子供たちが授業を受ける前に世界ジオパーク推進課からジオパークの説明を受ける、或いは公設塾minetoのスタッフから探究的な学びについてのアドバイスを受ける。そういう外部人材の活用もされておられます。

めくっていただきますと、だいたい7時間から8時間の単元で行われた授業ですが、最後には大嶺地域の活性化案を発表するというポスターセッションが行われています。

その中で、いくつか指導主事が写真等に収めてきたので紹介しますが、下の男子は、大嶺の化石というところに着目をして、化石ハンター選手権というようなことを提案しています。

概ね地域の活性化案ということで、右側の上の女子は、厚狭川の桜をイメージした桜のクッキーというのを発表しています。

下の男子は写真もあると思うのですが、SLを模したバスを秋吉台に走らせたらどうだろうか。

このイラストはですね、タブレットのAI機能を使って、子供たちが自分のイメージしたものを映像にして、ポスターに貼り付けるということもしています。

めくっていただきまして、上の、女子生徒は、社会復帰促進センターとの交流ということの体験から社会復帰促進センターのセンター生の刑務作業の物品販売の拡大を図ったらどうだろうか。

下の女子はですね、美祢の赤白黒をコーヒーゼリーで表して飲食店で出したらいいのではないかなというようなアイデアです。右側に、これも地域人材の活用ということで、市役所の地域振興課の課長さんが立ち上がって、フィードバックをされている写真ですけれども、3名職員が行ってくださって、子供たちにフィードバックをしてくれている様子です。

この取り組みは、一連の探究的な学びをするということが学習だったので、これを実際に行うところは計画していないのですが、最後の今後の予定のところに書いておりますが、今、美祢青嶺高校も含めた、大嶺中学校区で取り組んでいる憧れの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業、キャリア教育で小中高一貫して繋いでいこうという取組をしています。

その中でこの中学生の提案が小学生や高校生と協働した取組に、発展できないかという協議をしているところですので、お知らせをいたします。

はい、(1)は以上です。

教育長 南 順子

それでは、今中島課長の方からございました、大嶺中学校2年生の社会科の授

業に波及したジオパークを題材とした地域調査の手法の学習の件につきまして、ご質問とか感想でも結構でございますがありがとうございました。

新たな取り組みということでございますので、何か教育委員さんの方からどんなことでも結構でございます。

お尋ねになりたいこと、または感想等でも結構でございますので、ありましたらお願いします。

金子委員さん、お願いいたします。

教育長職務代理者 金子 明美

美祢市について学び、そして、いろいろな多方面から子供たちがアイデアを出しながら、活性化に向けての案を出しているところは素晴らしいなというふうに思いました。

ありがとうございました。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

谷岡委員さん、お願いいたします。

委員 谷岡 奈美子

いろいろと面白そうな提案をなさっているのだろうと思って、もうちょっと具体的にぜひ聞いてみたいなと思いました。

また、ジオガイドの活動などでも活用できるような内容があったら、ぜひ取り入れさせていただけたらなと思いました。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございます。

お願いいたします。

松本委員よろしくお願いします。

委員 松本 孝志

今言われたように、内容的には面白いなと思いました。

これは、一人ずつは一人一人がやるのですかね。

皆全員のテーマが決まっていて、だから、たくさんのテーマが出ていてってことなのですかね。

その中の一部が、紹介されたということですかね。

教育長 南 順子

中島課長、お願いします。

学校教育課長 中島 幹晃

おっしゃるとおりで、一人一人が一つ提案ということでグループではなくてですね。

このようにタブレットやAIの力も借りながら、自分で表現するということろまで持っていったという授業の一部を紹介したことになります。

委員 松本 孝志

おそらく全員が本当に一生懸命考えたのだらうかと、人任せにするのではなくて自分自身でどうしたらいいだろうかと考えながら、おそらく7、8時間掛かっているということは、実際に自分でクッキー作ってみたりとか、コーヒー作ってみたりとか、化石とかも試行錯誤しながらやっていたのだらうなと思いますので、とても良い学習になったのではないかなと思いました。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

井上委員よろしくお願いします。

委員 井上 敏雄

最後に大嶺中学校区で取り組んでいるって書いてあるのですが、よい取組はぜひ他の中学校区でも広げて実施してもらえばと思っております。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

今、貴重なご意見いただきましたので、またこれを一つずつ関係機関と話しながら、良い形で本当に子供たちにとって、良い取り組みとなるように進めていけたらというふうに思います。

ご意見ありがとうございました。

それでは、次の全国学力調査等の分析について、よろしくお願いします。

中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

その前にお知らせになるかと思いますが、MECと大きく書いてあるチラシをご覧ください。

美祢イングリッシュカフェということで、今まで長年ですね、イングリッシュクラブ、イングリッシュビレッジ、さらに去年は、イングリッシュキャラバンというふうにご子供向けの英会話、英語を使ったアクティビティを展開していたのですが、ALTの地域貢献ということも兼ねて、イングリッシュカフェというのも、今年度から始めております。

昨日、2回目があったのですが、親子連れで大体20名ぐらい、30分間の時間なのですけれども、5時15分からの30分間ということで、本当にコーヒーを入れて、穏やかな感じで和気あいあいと英語を使ってコミュニケーションをすることで、昨日はMYTを見たということで、70代ぐらいの方が、男性がお一人で参加されて、「また来ます。」とおっしゃったということで、なかなかいい雰囲気で行われていますので、学期に3回ずつぐらい、月に1回ずつぐらいこのようなことも、取り組んでいけたらと思っていることのご報告です。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございます。

すみません。私の方で順番を間違えておりました。

今のイングリッシュカフェについて、何かご質問とか、ご意見でも感想でもございませんか。ありましたらよろしくお願いいたします。

次回が7月16日ということでございますね。

大変教育委員の皆様もお忙しいと思いますが、もし、お時間とご都合がつけば、参加をしていただくとありがたいなと思います。

イングリッシュカフェについてはよろしいでしょうか。

それでは続きまして3番、全国学力調査等の分析、速報値についてよろしくお願いいたします。中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

同じく事前にお送りした資料の中で、エクセルの表の赤や青カラフルに、色がついている資料をお出してください。

1枚目の全国学力学習状況調査の数値は自校採点によるものですので、確定値ではございません。

もうこの結果、確定値を受けて動き出しでは遅いので、自校採点の結果を受けて、今もう動き出しをしているところです。

先ほど教育長からもありましたが、校長会、自主の校長会或いは招集の校長会で、教育委員会と今危機感を共有し、良い事例は、横展開を図りながら、各学校が今、対策を打っているという状況ではございますが、具体的な分析や対策については、また来月もお伝えしようと思いますが、速報的に状況だけ簡単に説明させていただいたと思います。

1枚目の小学校6年生をご覧ください。

国語と算数が左右にあります。

国語の中でいうと、左側が去年の10月の時点の数値で国語と書いてある下辺りに書いてあるのが、今年この4月のR8の学調の結果になります。

一番下が山口県の暫定の平均、その一つ上が美祢市の暫定の平均になりますので、県との差が少しあるということになります。

算数の方が同じくその手法で見ますと、山口県と美祢市がほぼ同じということで一応県ぐらいの人数規模がいれば、全国平均とあまり変わりませんので、これを水準として、目標に設定しているところです。

10月から比べると、大きく上下していない、他も頑張りますのである程度頑張ったのだけれども、水準に近づくほどの大きな伸びは残念ながら出せなかった。

ただ大きく下がるというようなことはなかったというのが6年生の状況かと思いますが、上の赤青の赤が点数が低いところで、青が濃くなれば点数が高いところなのですが、見ていただきますと、やはり、6年生については学校の取り組みがちょっと二分化されたのかな、例えば伊佐小であるとか先ほどありました於福小、豊田前小、秋芳桂花小は、概ね良い結果を出しているけれども、厚保、大嶺、秋吉あたりは、あまり伸びが見られないというふうな、少し結果が学校によって分かれたかなというのが6年生の状況です。

下が中学3年生の状況です。中学3年生は国語が県と美祢市があまり差がない程度になりました。

数学は山口県平均を美祢市が唯一この中学3年生の数学が県平均を上回っているという状況で、ここは良かったというふうに思いますが、国語についても頑張ればよかったのですが、ちょっと上をご覧になれば、大嶺中学校が去年の10月に比べて、大きく下がったというあたりで、このあたりに課題が見られたということで、ここはですね、指導主事を派遣して、どういうふうなことなのかというのを全体の取り組みもありますが、個別に、ここの対策というのに伴走支援しながら指導主事を派遣して、把握して対策を打っていきたいと思っています。

伊佐中学校が一番上にありますが、伊佐中学校は国語も算数も伸びています。かなり伸ばしているのは、良い成果ですので、校長会でも、横展開の事例発表をしているところです。

一枚めくっていただきまして、小学校、左上が小学校5年生の数値です。

これが国語については県との差が少しあります。算数について県と差がかなりあります。上もかなり赤い色が目立っていると思います。

これが一番、全体を通して課題のあった学年、課題のあった教科というふうに見えています。

ここをどれだけ今から伸ばしていけるのかというのが課題ととらえているところです。

右側の中学1年生、これが国語が県との差が少しあり、数学も差が少しあるということで、これは中学1年生については、かなり県平均と近い状況です。

上を見ていただきますと、大嶺中と秋芳中が県平均よりちょっと上に行っている関係で、伊佐、厚保あたりがすごく赤くなっているのですけれども、平均しますと、水準に達している。

このように、やはり大嶺中学校であるとか、美東、秋芳この辺り、ある程度

人数が多いところが、しっかり成果が出せると、良い波及効果というのは望めるというふうに思います。

逆に、左側の小学校5年生のところを見ると、やっぱり大嶺小学校であるとか、美東小学校であるとかがですね、大嶺小学校は小学校5年生の算数が県との差が結構大きい、美東小学校については差がかなり大きいというようなことになっておりますので、この辺り課題があると思います。ここはやっぱり個別に一緒に我々も入って支援していかないといけないと思っているところです。

下の中学2年生のところを見ていただきますと、国語につきましては、県との差が僅かということで、かなり肉薄しています。

これはですね、小学校6年生のときには、かなりの幅で国語も算数も悪かった学年なのですが、中学校になってかなり伸ばして回復してきている、県平均に近づいてきている、ただし、数学の方はまだ少し差があります。やはり、国語については、いろいろなことで挽回できる可能性が高いのですけれども、数学については積み重ねがかなり大事で、中学校になって急に挽回するというのがかなり難しいので、やっぱり小学校からの積み上げというのが大事というふうに感じているところです。

それで、小学校5年生からの県は調査なのですが、5年生になって急に、状況を把握してもなかなか手を打つのが遅くなってしまうので、美祢市においては最後の3枚目をご覧ください。

小学校3年生のこの段階、去年は10月にとったのですが、今年からもう同じ4月に取りろうということで、小学校3年生と小学校4年生東京書籍のCBT調査でこれCBTなので、小学校3年生ですが、タブレットでやるものになります。

全国の大体推定値に比べることができるようになっていきます。この方式では初めての取り組みです。

これでやりますと、小学校3年生、そのタブレットの使い方がうまくなかったということもあるのだと思うのですが、かなり赤が多いと。

だからこの時点で、まず小学校1、2年生の段階の学びが定着しているのかというあたりを検証しながら、小学校への支援をしていかないといけないなというふうに思っています。

それに比べますと小学校4年生の方はですね、若干赤が減ってきてはおるのですが、それでも国語も少し、算数も少しぐらい全国の推定値よりは低い状況ということで、こういうふうな事実ベースに基づいてですね、今後、早速、指導主事をすべての学校に今から派遣してですね、今、学校が学力向上の実行計画というのを、立てています。

この結果を受けて、その計画が有効なものかどうかというのを一緒にチェックして、伴走支援をしてまいろうと思います。

7月と夏休み、どのように過ごせば、有効に過ごせるかというようなことを、共有したりアドバイスしたりして参りたいと思っているところでございます。

また、7月には、もう少し詳しいご報告ができればと思います。

以上です。

教育長 南 順子

それでは、今の中島課長からの学力に関するいろいろな調査の報告につきまして、教育委員の皆様方からご意見やお気づき等ございましたら、お願いできたらと思います。

また一応、自校採点ということで、その表紙に書いてありますように、確定値は7月に文科省の方から改めて通知されますが、今までの状況からいっても、若干の変動はもちろんございますけれども、大きな変動はなかったように記憶しております。

是非これは本当に美祢市の大きな課題でございますので、率直なお考えやお気づき、感想等でもございませぬので、ぜひ教育委員の皆様方からご意見等いただけるとありがたいなと思います。

ありがとうございます。金子委員お願いいたします。

教育長職務代理者 金子 明美

学力がアップした取り組み、有効な取り組みについてはしっかり共有するというお話がございましたけれども、とても大事だなと思いました。

よろしくお願ひしたいと思いました。

それともう一件、東京書籍のCBTの検査をされたということで、小学校3年生から実態を把握するということはとても大事だと思います。

それぞれの学年でやはり習得しなくちゃいけない内容、それから身につけておかななくちゃいけない知識、理解、そういう項目について、まだそうでないという状況であるならば、早く手を打つということが、それ以降の学力向上に繋がるのではないかなということで、そういう意味でも、3年生、4年生のこの取り組みはとても有効かなと思いました。

そして、しかもその時期を4月にされたということは、年度初めに学校全体で課題を共有する、そういう一つの大切な手段なのではないかなというふうなことを、お話を聞きながら思いました。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございます。

松本委員、よろしくお願いいたします。

委員 松本 孝志

ここに出ているのは一つの数字なので、この数字を幾ら眺めていてもなかなか問題点が見えないところもあるのですけれど。

やっぱり、県の確認問題、それから全国の問題で、おそらくどこでつまづいているのかと。

どこが足りなかったのかっていうのをやっぱり分析しないと、子供たちの力はつかないので、ぜひ学校の方で実際の問題と子供たちを見て人数が少ないということは、メリットになるので、一人一人の子供がどこが解ってないとか、どういう考え方が足りないというところを出していただいて、取り組んでいただけたらいいなというふうに思っております。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

井上委員、お願いいたします。

委員 井上 敏雄

各学校の差っていうのは人数の差、いろんな差があろうかと思うのですけれど、学校別というよりも全体平均で見たときに、どの学年もその県の平均よりも下回るっているのはちょっと大きい問題かなと思っております。

山口県といえども都市部、下関とか、そういったところでは塾に通う子供も多く、中学校に向けて競争心を高め合っているっていうところもあるのかなと思います。

美祢のようなところは、そんなに競争がなくてもという言い方はあるかもしれませんが、ゆっくりゆったりいい学習しているわけですね。

学校の授業プラスアルファのことをやらないと、やっぱり今では、ちょっと点数が伸び悩むっていうか、定着に行かないのかなと。

それが昔から言われている家庭学習なのだと思います。

要は家庭学習の時間で、その振り返る学習、授業で習ったことをその日のうちに振り返って学習するっていう習慣をずっと小さいところからやっていくのがやっぱり大事なのかなと思います。

昔から言われていますけれども、家庭学習の時間はどんどん減っていった状況ですね。

それとやっぱり成績っていうか点数がやっぱりイコールに近づいているところがあるので、塾に行けって言うつもりはサラサラないのですけど、その分、家庭学習で、学校で学んだことを、その日のうちに振り返る学習をする癖を小さいときにつけていけたらいいのかなと思っております。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

もし何かあれば、はい。

お願いいたします。

谷岡委員。

委員 谷岡 奈美子

今、家庭学習の話があったのですけれども、本当に我が子もゆっくりゆったり学習していて、伸び悩んでいるのだらうなとちょっと実感しているところです。

本当に家で宿題をやっているにもかかわらず、私が確認してあげるということもできていけませんので、そういう家庭学習についてちょっと、もうちょっと考えたいなと思いました。

以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

いろいろ貴重なご意見を教育委員さんの方からいただいてありがとうございます。

中島課長、何かございましたら。

学校教育課長 中島 幹晃

実際、各学校、それからまたその教科であったり、規模であったり、学校の状況はまちまちですので、実際に指導主事を派遣して、学力向上実行計画は様式を市内で、昨年統一しましたので、より実効性のあるもの、具体的に誰が何をしていくのかがわかりやすく書かれるような様式に変えていますので、そこに落とし込みながら、今のアドバイスを反映しながら、もう1学期かなり短くなりますけれども、今、まずは短期的に何ができるか。

それから、夏休み、それから9月にどんなことができるのかということに伴走支援しながら実行して参りたいというふうに思います。

ありがとうございました。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

本当に未来を生きる子供たちにとって、やっぱり学力はとても大切なことですので、今、教育委員の皆様方からも言われましたように、低学年のうちからやはりきちんと調査等をして、早く子供たちのつまずきをしっかりと把握して手を打つということや、美祢市の少人数を生かして本当に一人一人の子供のつまずきをしっかりと把握して、それを改善につなげ、学力の向上につなげていこうと、それから家庭学習の習慣をつけ、それによってしっかりと振り返りをする。

ここにも積み重ねが結局、最終的には主体的な学びにも繋がってくるというふうに思っておりますので、このあたりしっかりと学校と連携をしながら、大変なピンチではありますが、少しでもこれをピンチのままにしないで、少しで

もチャンスに変えていくように努めていけたらというふうに思います。

また、いろいろこの7月も、今度は美東小と、それから秋芳桂花小の学校訪問がございますので、その時にもお気づきになられましたことは、ビシバシ学校の方で校長の方にも言っていて、本当にみんなで子供たちの学力向上に取り組んでいけたらと思います。

また、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、学校教育課の方はよろしゅうございますでしょうか。

では、生涯学習スポーツ推進課、神田課長お願いいたします。

生涯学習スポーツ推進課長 神田 高宏

生涯学習スポーツ推進課からは、美祢図書館の取り組みについてご報告いたします。

前もって配布いたしました、こちらの1枚もののチラシをご覧いただけたらと思います。美祢図書館では、地域の中心的な施設である学校の校歌、楽譜を募集します。美祢市内にはかつて多くの小中高等学校がありましたが、現在は小学校9校、中学校5校、高等学校2校と減少し、今後も出生件数の減少とともに、小中高等学校の数も減少していくと予想されています。

各学校の校歌には、地域の自然、文化、歴史、それに当時の学校が目指すべき姿など、様々な思いが詰まっています。

美祢図書館では、地域の大切な宝である校歌を未来につないでいくため、校歌の歌詞、楽譜を募集したいと考えております。

募集した後は、生涯学習フェスなどのイベントで、市民の皆様に公開できたらと考えております。

以上です。

教育長 南 順子

今生涯学習スポーツ推進課の方から校歌を集めるということがございましたけれども、何かご質問とかありましたらお願いいたします。

それではよろしいでしょうか。

続きまして、文化財保護課お願いいたします。

中村課長。

文化財保護課長 中村 義輝

文化財保護課からは夏休み期間中に実施されます歴史民俗資料館などの市内4館で開催されるイベントについてご紹介させていただきます。

まず、歴史民俗資料館及び化石館の方では、缶バッチづくり体験を始めます。

こちらは、本年度から開始する新規事業で、7月11日から開始予定となっております。

こちらの方は昆虫の化石の塗り絵であったり、ミネドンの絵とか、SLの写真

などを缶バッチにするというものになっております。

資料館では丸の缶バッチ、化石館では四角の缶バッチを体験できるということになっております。

続いて、秋吉台科学博物館ではギャラリートークなどの開催を予定しております。

学芸員によるギャラリートークにつきましては、こちらでも今年度初めての取り組みでございまして、7月26日、8月2日、9日、23日と1日に1回約30分程度ということで予定しております。

こちらにつきましては、学芸員がそれぞれの専門分野について展示を前に自由に解説するというものになっております。

展示物の解説だけでなく、必要に応じて、普段展示していない標本などもご覧いただくという形を予定しています。

それから、クイズラリーもこちらでも初めての取り組みでございます。

7月14日から始める予定で、このギャラリートークと合わせて楽しんでいただければと思っております。

あわせてミニ特別展としまして熊展を開催予定です。

こちらの方につきましては、美祢市で捕獲されたツキノワグマの標本を展示するというものになっております。

最近、熊の出没の話がちらほらございますけれども、このクマの生態を正しく知って、どのように守っていくか、つき合っていくかということを考える機会になればということになっております。

続いて、長登銅山跡文化交流館では、火おこし体験ということで、8月16日に予定をしております。

こちらにつきましては、専門員の解説を聞きながら、長登銅山文化交流館の展示を見学した後に、古代の火おこし体験を行って、その火を用いて釜飯を作って食べるというふうな形になっております。

このイベントにつきましては、6月23日に開催されました校長研修会の方でもご紹介させていただきまして、子供たちの夏休みのよい思い出、また自由研究に活用していただければというふうに思っております。

文化財保護課からは以上です。

教育長 南 順子

ありがとうございました。

何か教育委員の皆様方から質問等がございましたら、お願いできたらと思います。

よろしいでしょうか。

しっかり広報して、子供たちが一人でも多く、子供たちだけでなく大人もですけれども、参加してせっかくのこのいろいろな取り組みを体験していただきたいなというふうに思っております。そのための情報発信等にもしっかり配慮

していきたいというふうに考えております。

それでは、次に、世界ジオパーク推進課お願いいたします。

中村課長。

世界ジオパーク推進課長 中村 義輝

世界ジオパーク推進課からは、日本のユネスコ加盟75周年記念フォーラム等についてご報告をさせていただきます。

まず、日本のユネスコ加盟75周年記念フォーラムについてです。

5月20日に東京都渋谷区にあります国際連合大学において、日本のユネスコ加盟75周年記念フォーラムが開催されました。

こちらの方では、ユネスコのエルアナーニ事務局長と国内ユネスコ関係者とのパネルディスカッションが行われ、本市から篠田市長がパネリストとして参加しました。

パネルディスカッションの中で、市長の方から、小中一貫でジオ学習を行っていること、また、秋吉台がかつて爆撃演習場として利用されそうになった際、住民運動によって阻止されたことなどを話されました。

会場では、そういった教育や平和に高い意識を持っておられる方が出席されておりましたので、たくさんの方から関心を寄せていただき、多くの方がメモを取られていたそうです。

こういった記念すべき式典の中で、市長自らがMine秋吉台ジオパークを国内外に発信できる機会ということで、ジオパークの認知度を上げる良い機会であったというふうに感じております。裏面にはその様子が画像として貼り付けておりますのでご覧ください。

続きましてジオパーク食の祭典としまして、ユネスコ世界ジオパークとして認定されたことを記念しまして、東京の丸の内にありますkitte丸の内において、記念イベントが開催されました。

Mine秋吉台ジオパークとしまして、こちらのイベントに参加し、6月5日から7日までの3日間、開催されたものでございます。

この中で、ジオパークパートナーの商品として、別府弁天池の湧水で育てたもち米等を使ったかき餅であったり、美東ゴボウ、それから地元の特産品をそれぞれふんだんに取りそろえて販売したところでございます。

こちらにつきましても、市長自らこのMine秋吉台ジオパークの背景にあるストーリーを含め、秋吉台の地質、地形、歴史の面白さであったり、大地の恵みである食の豊かさということを発表していただきまして、東京の方に広く周知できたものと思います。

このきっかけが美祢市へ足を運んでいただけるきっかけになればというふうに考えております。

世界ジオパーク推進課からは以上でございます。

7 教育委員からの提案及び意見

教育長 南 順子

ありがとうございました。

教育委員の皆様方から何か質問等ございましたらお願いいたします。

ご感想等とも結構でございます。

いいでしょうか。

それでは、全体を通して、教育委員の皆様方からの提案及び意見というところで承りたいと思いますが、何かございましたらよろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。

はい、どうぞ中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

一件お知らせを忘れておりました大変申し訳ございません。

事前にお送りした資料の中でA4の1枚もので、美祢市教職員研修の開催についてというワンペーパーがございます。

これは、毎年行っております市内小中学校の教職員全員に対する研修で、今年度は8月4日の午後2時から、2時間日程で場所が来福センターになりますが、奈良県の生駒市の教育委員会の若松主幹さんが、「子供が生きる」ということで、自由進度学習を成功させるためにはやっぱり学級づくりが大切という、学級づくりのお話をメインに授業づくりのお話をいただく予定ですので、もしお時間、ご都合がありましたら、教育委員さん方のご参加をお願いできたらということで、お願いいたします。

以上です。

教育長 南 順子

8月4日の2時から来福センターでということでございますので、もしご都合がつけばよろしく願います。

それでは、事務局の方にお返しします。

8 次回の教育委員会会議の開催予定

事務局長 千々松 雅幸

それでは、7月の定例会議についてであります。

7月の教育委員会会議につきましては7月30日木曜日13時30分から、ここ301会議室で行いたいと思いますがよろしいでしょうか。

<全員了承>

事務局長 千々松 雅幸

ありがとうございます。

今後の予定は記載のとおりであります。

閉会

事務局長 千々松 雅幸

それでは以上をもちまして6月の定例教育委員会会議を終わりたいと思います。

大変お疲れでございました。

ありがとうございました。

（午後2時55分終了）

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成